



令和3年10月1日

トピックス ～ インボイス制度 ～

令和5年10月1日から、複数税率に対応した消費税の仕入税額方式として、『**適格請求書等保存方式**』いわゆるインボイス制度が導入されます。本制度導入に先立ち、今月1日より適格請求書発行事業者登録の申請受付が開始されます。

本号では、『インボイス制度』についてご案内します。
詳しくは当事務所にお尋ねください。

1. 適格請求書（インボイス）

適格請求書とは、『売手が、買手に対し正確な適用税率や消費税額等を伝えるための手段』であり、一定の事項が記載された請求書等の書類です。

2. 適格請求書発行事業者登録制度

適格請求書を交付できるのは、**適格請求書発行事業者**に限られます。

適格請求書発行事業者となるためには、税務署長に「**適格請求書発行事業者の登録申請書**」を提出し、登録を受ける必要があります。なお、**消費税の課税事業者でなければ登録を受けることはできません。**

⇒免税事業者は免税事業者に留まるか、課税事業者に移行するか、究極の選択を迫られることとなります。

3. 適格請求書発行事業者の義務等

適格請求書発行事業者は、一定の場合を除き買手側の求めに応じ、**適格請求書を交付する義務及び交付した適格請求書の写しを保存する義務**があります。

◎適格請求書の記載事項

適格請求書発行事業者は、以下の事項が記載された請求書や納品書等を交付しなければなりません。

- ① 適格請求書発行事業者の氏名又は名称及び**登録番号**
- ② 取引年月日
- ③ 取引内容（軽減税率の対象品目である旨）
- ④ 税率ごとに区分して合計した対価の額及び**適用税率**
- ⑤ **消費税額等**
- ⑥ 書類の交付を受ける事業者の氏名又は名称

（下線の項目が、現行の区分記載請求書の記載事項に追加される事項です。）

4. 仕入税額控除の要件

適格請求書等保存方式の下では、一定の場合を除き、一定の事項を記載した帳簿及び請求書等の保存が仕入税額控除の要件となります。

保存が必要になる帳簿の記載事項は、現行と同じです。

5. 免税事業者等からの課税仕入れに係る経過措置

適格請求書等保存方式の導入後は、免税事業者や消費者など、適格請求書発行事業者以外の者から行った課税仕入れは、原則として仕入税額控除を行うことができません。

ただし、次の期間は、仕入税額相当額の一定割合を仕入税額として控除できる経過措置が設けられています。

期 間	割 合
令和5年10月1日から令和 8年9月30日まで	仕入税額相当額の80%
令和8年10月1日から令和11年9月30日まで	仕入税額相当額の50%

秋分の日を過ぎ10月ともなりますと朝晩は冷涼という表現がぴったりで、一年で一番爽やかな季節を迎えております。家の周りでもコスモスが白、ピンク、紫と咲き誇り、真っ赤な彼岸花も青い空と鮮やかなコントラストを醸し出しております。

いよいよ緊急事態宣言も解除されました。政治的な思惑もあつてか、新規感染者数の減少を頼みの根拠にしての判断となりました。おそらく、今月中は減少傾向が続くと見込まれますが、自宅療養という、体のいい入院謝絶・診療回避の状態が根本的には解消されていないままの中途半端な判断になっております。とはいえ、飲食業界を中心に時短営業を強いられ売上げが半減あるいはそれ以下という厳しい経営環境に置かれている事業者にとって一つの光明であることは間違いありません。これからは、画一的な感染予防対策から脱却して、ワクチンパスポート、3回目の接種等、事業者と消費者の両サイドから効果的なきめ細かい対策が重要になっていくことでしょう。ワクチン接種もようやくにして欧米先進諸国並みにまで進展してきております。今後は若年者等での接種が前進していくことが期待されております。宣言が解除されましたが、マスクと手洗いの励行に心掛けましょう。

政治の局面では、自民党総裁には岸田文雄氏が1・3位連合により河野太郎氏に大差をつけて選出され、近く開かれる臨時国会において第100代の内閣総理大臣に就任します。菅内閣が一年前に発足し、「コロナを封じ込め、経済の再生を目指す」という二正面作戦をとったものの、経済対策がチグハグとなり、コロナ対策も前半は空回りしておりました。当初こそ60~70%という高い内閣支持率を誇っておりましたが、国民の心に響かない官僚作成の文書（内容はそれなりの重みがあるものの）の棒読み等、パフォーマンスの稚拙さの影響とも相俟って、支持率が急降下し、この間の重要な国政・地方選挙も全敗という不振が重なり、総選挙の顔にはとてもならないという若手議員等からの突き上げを受け、総裁選挙への立候補断念に追い込まれました。何とも皮肉なめぐり合わせと言いましょるか、断念の発表を待っていたかのように、日経平均株価が急騰し、一挙に3万円の大台を回復するとともに30年ぶりの高値更新を果たしております。本人にとっては忸怩たるものであり、これ程不本意なことはありませんが、自民党政治の安定・継続という側面から見れば最大の功労者！？になっております。間もなく発足する新内閣が、過去8年に亘る安倍・菅政権の功罪をきちんと総括することなく、シャッポを代えただけで、現下の苦境から一刻も早く抜け出したいという国民の切なる願いを掬い取ってくれるものなのか、注視していく必要があります。

一方、ますます脅威が増してきている中国の動向から目を離せません。直近では、政治面、軍事面もさることながら、経済面の動向として、不動産大手「恒大集団」の債務不履行・デフォルトを巡る駆け引きです。負債総額が33兆円という一国の予算に匹敵する巨大企業の資金繰りに世界中の投資家が固唾を飲んで注目しております。習近平国家主席といえども「共同富裕（共に豊かになる）」という壮大な目標を掲げて来年の党大会での永久主席化への布石を盤石にするためには、不動産バブルの頂点に立つ恒大集団の安易な救済には一般庶民からの反発は避けられず、簡単に動くことができません。とはいえ、これを放置すると一挙にバブル崩壊が始まり、中国経済のみならず世界経済にも甚大な影響を及ぼしかねない、という深刻なジレンマが控えております。年末から来年にかけての大きなリスク要因に今から心していかなければならないようです。

《和奏・遼真通信》

先月、遼真は10歳の誕生日を迎えました。いわゆる二分の一成人式にあたります。今年の誕生日プレゼントとして、要望のあったマイクラフト「はじまりの島」他2冊の本をあげました。ベストセラーの冒険ものようです。かなり字が小さく、びっしりの本でした。次から次へと新しいものへ興味関心が湧いてきているようで、嬉しいような、戸惑うような不思議な心境です。一方の和奏は、今月が誕生日で関係ないのですが、おまけとして何か希望は？と尋ねたら、鬼滅の刃関連のシール付チョコレートが所望でした。中学3年の割には‘おぼこく’これはこれで、摺れていない純情さに触れることができ、久方ぶりに二人の孫らと過ごしたじいじとしては小春日和の一日となりました！

(令和3年10月1日 所長 橋本)

